

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記の検査項目につきまして、検査内容を変更致しますので取り急ぎご案内致します。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

検査内容変更項目

コード	項目名	変更箇所	新	旧	備考	検査案内
363	アルトラゼ	単位	IU/L	IU/L/37℃	使用標品の表示単位に準拠した適正化	11頁
695	クアナーゼ					
660	アデノシンデアミナーゼ		U/L	IU/L/37℃		12頁
1773	隣アミラーゼ					
1822	隣アミラーゼ(尿)					
894	尿中テストステロン	基準値	男性 10~120 女性 5~ 36 μ g/day	男性 13~160 女性 2~ 47 μ g/day	受託僅少による委託先変更	43頁
		所要日数	3~15日	3~5日		
		委託先	SRL	三菱化学メディエンス		
564	エストラジオール	検査方法	CLIA アボットジャパン	RIA(チューブ固相法) 三菱化学メディエンス	RIA から CLIA による自動分析装置試薬へ変更	43頁
		基準値	裏面別表参照	裏面別表参照		

実施期日

- 平成 25 年 3 月 30 日(土)受付分より

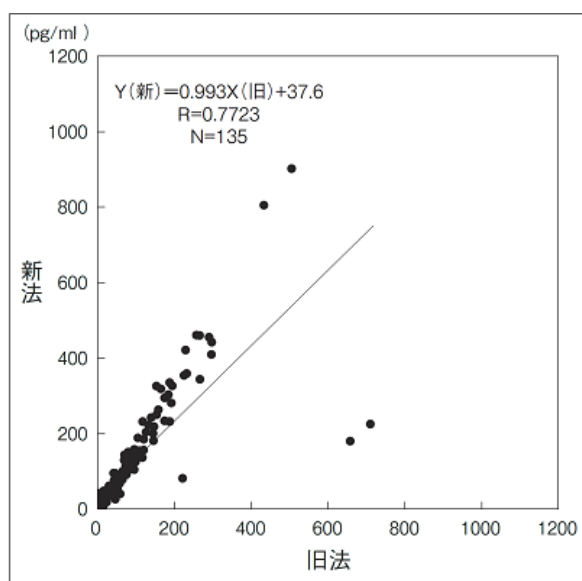
【検査方法変更について】

この度、エストラジオール E2 の検査方法を RIA(チューブ固相法)から CLIA に変更します。本変更により、新基準値の採用を実施致します。

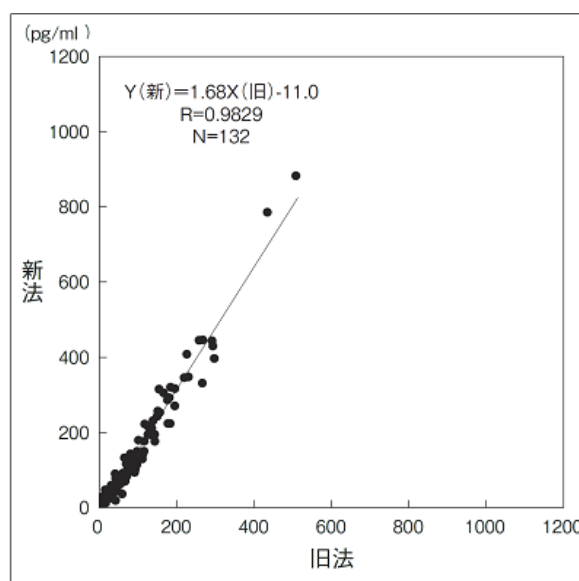
新法では、標準品の値付けが異なる為、旧法に比べ高値になる傾向が認められます。しかしながら、新法は内因性の E2 に対し特異性の向上した抗体を利用している為、エストロゲン製剤投与者では旧法に比べ低値を示すことがあります。ご利用に際しご留意いただきますようお願い申し上げます。

【新旧二法の相関】

【乖離例*を含んだ相関図】



【乖離例を除いた相関図】



* 乖離した 3 検体はエストロゲン製剤の投与患者から採取したものであり、投薬による影響と推測されます。
(三菱化学メディエンス検討データ)

【新旧基準値】

		新基準値	旧基準値
男性		19～51	20～60
女性	卵胞期	19～226	前期 10～78 後期 31～200
	排卵期	49～487	103～366
	黄体期	78～252	前期 14～225 後期 251 以下
	閉経期	39 以下	18 以下
妊婦	前期	780～16,600	106～5,880
	中期	1,150～36,600	2,040～19,400
	後期	5,450～44,900	7,310～46,400

(pg/ml)

【参考文献】

(乖離例説明) 三室卓久, 他:産科と婦人科, 第 71 巻増刊号, 115～120, 2001.
(基準値根拠) 岩佐 武, 他:産科と婦人科, 73(1), 133～140, 2006.